第73号　令和5年（2023年）6月13日

教育情報誌
まなびの風
船橋市総合教育センター　〒273-0863 船橋市東町834番地　TEL 047-422-7730

スクールソーシャルワーカー（SSW）を拠点校に配置！問題の早期発見・早期対応へ！

本市では、平成 30 年度からスクールソーシャルワーカー配置事業を開始し、総合教育センターを拠点として市立小・中・高・特別支援学校へスクールソーシャルワーカー（以下 SSW）の派遣を行ってきました。近年は、社会福祉の専門的な知識・技術を持つ SSW への相談件数が増加しています。

令和５年４月より、市内の全中学校区内の 26 校と市立船橋高等学校に SSW を原則週１日配置し、拠点校から担当校へ派遣できるようになりました。拠点校配置により、さらに多くのケースに関われるようになることや、問題の早期発見・早期対応を目指しています。児童生徒や保護者の抱えている問題の解決に向けて、支援の充実に努めてまいります。

スクールソーシャルワーカー（SSW）ってどんな人？

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家です。

引用：文部科学省「生徒指導提要」（平成22年3月作成）

スクールカウンセラー（SC）とのちがいは？

【福祉の専門家】児童生徒の置かれている環境（家庭や地域等）に働きかけ、状態を改善する。

スクールソーシャルワーカー（SSW）

【心理の専門家】児童生徒の心の様態を把握し、性格や特性、問題行動に対応する。

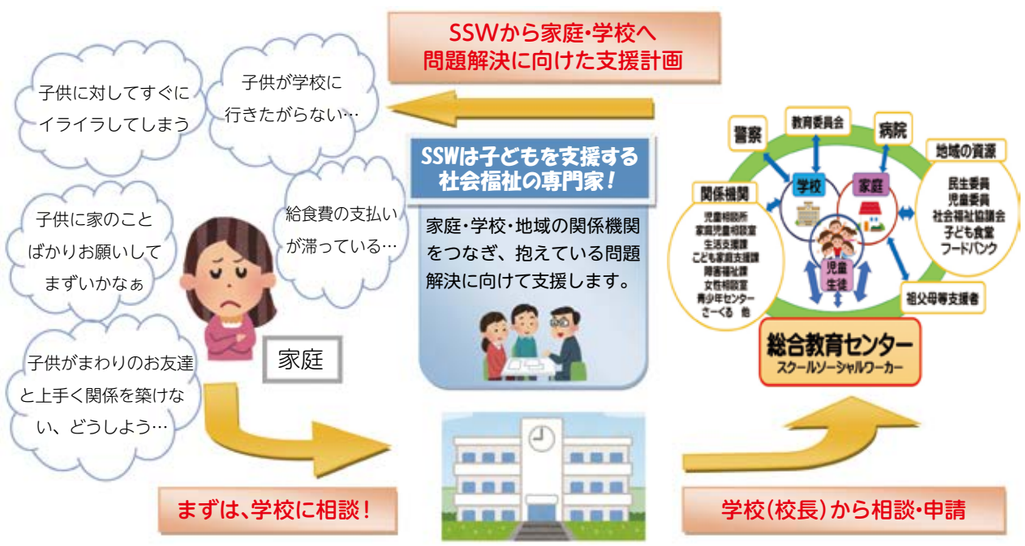
スクールカウンセラー（SC）

SSWとSCは情報交換や共有等をして連携を図ります。

船橋市のスクールソーシャルワーカー（SSW）について

学校から SSW 派遣の要請を総合教育センターが受け、拠点校から要請のあった学校へ SSW を派遣します。児童生徒や保護者の現状を把握し、問題解決に向け背景を見立てて支援計画を立案します。また、学校と連携をとりながら関係機関をつなぎ、それぞれの役割分担に従って、支援します。

どんな時に、どのように申請すればいいの？



表紙絵　阿部　菜穂（坪井中学校　教諭）

令和４年度　第58回教育研究論文

船橋市では、教職員が日々の指導の工夫・改善に取り組んだ研究や実践の記録を「教育研究論文集」にまとめて広く紹介し、教職員のさらなる資質能力の向上のために役立てています。昭和 40 年（1965 年）から始まった本事業は令和４年度で第 58 回を迎え、応募された論文総数は 942 編に上り本市教育の貴重な財産になっています。令和４年度は、学習指導、特別支援教育、国際理解教育、ICT 機器の活用、カリキュラムマネジメントを意識した取組、食育など、多岐にわたるテーマに取り組んだ 12 編の論文が寄せられました。

教育長賞

南本町小学校
校長　石井　久隆
（現：峰台小学校教諭）

南本町小学校は、令和４年度から、２年間、環境教育の研究奨励校に指定されました。本研究は、指定１年目の中間報告としてまとめたものです。「今の自分にできること」を全体のテーマとし、３年生以上が各テーマを決めて実践しました。この度は、素晴らしい賞を頂き、職員一同、今後の研究の励みとなりました。ありがとうございました。

審査員長講評

日本女子大学
教授
坂田　仰

論文は、データ等による論証が重要になります。さらに良い論文に仕上げるためにも、子供たちや学校経営への取組を継続し、精度をあげていく必要があります。今回の論文執筆をひとつの経過点として捉え、継続することに力点をおいて実践を続けてほしいと思います。

海図のない航海のように目まぐるしく変化する予測困難な時代だからこそ、皆さんの教育実践により得られた知見を生かして作り上げる道標が、明日の船橋市の教育を形作っていくのだと考えます。

優秀賞

小栗原小学校　教諭…岡﨑　鷹志
飯山満中学校　教諭…内藤　亮生

優良賞

葛飾小学校　（共同研究）
教　諭……萩原　裕美
学校司書……戸田　祐子
教　諭……和田　陽子
教　諭……國友　照代
教　諭……植原　達也（退職）
古和釜小学校　技師…角頼　幸奈

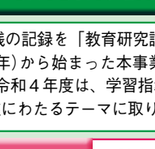
奨励賞

南本町小学校　教諭…平山　惠美子
海神小学校　教諭…阿部　沙由里
（現：市川市立真間小学校）
大穴小学校　校長…藤木　美智代
大穴小学校　教諭…伊藤　潤
（現：主幹教諭）
宮本中学校　教諭…菅原　皓二
葛飾中学校　教諭…歌津　文也
豊富中学校　教諭…横内　正隆
（現：船橋市教育委員会）

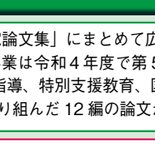
注：令和４年度の所属名で記載しています。なお令和５年度に異動した教職員は（　）内に記載しています。

令和4年度 千葉県教育奨励賞 受賞者

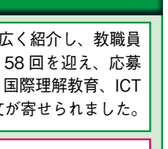
県の教職員の中から、学校における教育実践等に積極的に取り組み、優れた実績を上げているとして、千葉県教育奨励賞を受賞した方々を紹介します。



中野木小学校　教諭
大久保　亜紀
（現:習志野台第二小学校教諭）
【総合的な学習の時間における研究推進】



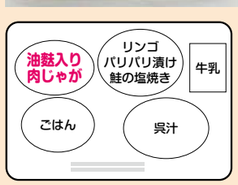
豊富小学校　教諭
小笠原　由香
【道徳科教育の推進】



船橋中学校　教諭
石川　航平
【保健体育科教育の推進】

わが校の給食自慢レシピ　湊中学校編

『油麩入り肉じゃが』



木村 彩（湊中学校 栄養教諭）

材料（4人分）

	豚もも脂身つき（小間）	100g
A	酒	小さじ1/2（2.5g）
A	しょうゆ	小さじ1/2（3.0g）
	にんじん（1㎝銀杏）	中1/4本（40g）
	たまねぎ（スライス）	中1/2個（80g）
	じゃがいも（1㎝銀杏）	中3個（300g）
	しらたき（アクぬき）	40g
	油麩（半月切り）	16g
	サラダ油	小さじ１（4.0g）
B	砂糖	小さじ2（6.0g）
B	しょうゆ	大さじ１（18.0g）
B	酒	小さじ1（5.0g）
B	みりん	小さじ１/2（3.0g）
	さやいんげん	4本（20g）

作り方
1. 豚肉にAで下味をつけ30分以上おく。
2. 鍋に油を熱し、豚肉を炒める。
3. にんじん・たまねぎを炒める。
4. じゃがいも・しらたきを炒める。
5. Bで調味する。
6. 具材にあらかた火が通ったら油麩を加え、煮汁を染み込ませる。
7. 仕上げにさやいんげんを加える。

レシピ紹介

今回は、宮城県や岩手県で食べられている「油麩」を使った「油麩入り肉じゃが」をご紹介します。

お盆の精進料理の材料の油揚げや豆腐は、冷蔵技術がない時代には傷みが早いのが悩みでした。宮城県登米の豆腐店が油麩を考案し、この問題を解決したといわれています。油麩を加えた肉じゃがは、旨味たっぷりの深い味わいです。

この献立は、東日本大震災を振り返る機会として、そして今も復興にむけて頑張っている東北地方を応援するため、３月に実施したものです。日頃から、給食を通して昔から伝わる行事や過去の出来事に思いを馳せることができるよう、意識して献立を考えています。

学校へ通えず家庭から出られないお子様のことでお悩みの方は、
《ふれあい「夢のふなっこ」》にご相談ください。
☎ 047-434-6811　火曜日から金曜日　午前 10 時から午後３時まで

学びを支える教育委員会

教育委員会では、子供たちの「学びたい」「やってみたい」という思いをできるだけ叶えられるよう、さまざまな分野で発表・挑戦する場を設けています。

学校での学びに加え、市内の友だちとの気持ちが高まるような体験をとおして、一人一人が自分の夢をさらに大きくふくらませることができるよう、船橋の子供たちの学びを支えていきます。

星を見る会

月や惑星などを望遠鏡で観望します。天文ボランティアの協力により、大小様々な望遠鏡で、月のクレーターや土星の輪などが観望できます。子供から大人まで宇宙への興味が広がるきっかけになっています。

教育フェスティバル

【児童生徒社会科作品展】
【児童生徒科学論文・工夫作品展】

社会や理科の中で気になることをテーマにして研究します。作品は、10月下旬に総合教育センターで開催する「教育フェスティバル」内で展示しています。

算数・数学チャレンジふなばし

算数・数学に対する興味関心を高めることを目的とし、７・８月に開催しています。各学校の代表児童生徒（小学校６年生・中学校３年生）が参加して算数や数学の問題に挑戦します。

スポーツ健康都市宣言40周年記念スポーツフェスタ

船橋のスポーツ健康都市宣言40周年を記念して、子供から大人までスポーツにふれあえるイベントを10月に開催します。

音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭

市内の小中学生、高校生から大人まで、世代や音楽ジャンルを超えて一堂に会する、市内最大級の音楽イベントを開催しています。

文化活動普及事業

プロのアーティストを市内小・中・特別支援学校に派遣し、学校内で体験型授業を行います。子供たちの豊かな想像力や思考力を養うとともに、創造性を育むことを目的としています。

クラスみんなで目指せ！体力船橋ナンバーワン

クラスの仲間と楽しく協力し合いながら運動に取り組むことで、好ましい人間関係や社会性を育成することを目的として各学校で実施しています。

小・中・特別支援学校 造形作品展

「子供たちの色・形・夢」をテーマとして、豊かな情操を養うとともに創造的表現力の伸長を図ることを目的として開催しています。

小・中学校 技術・家庭科作品展

技術・家庭科の学習において、製作した各校の代表作品を、総合教育センターおよび市庁舎で展示しています。学習成果の発表の場であると共に、鑑賞をとおして技術の向上を図る目的で開催しています。

小・中・特別支援学校 児童生徒書写展覧会

小学１・２年生は硬筆、３年生以上は毛筆での作品を展示します。書写に対する意欲と技能向上を図る目的で開催しています。

小・中学校音楽発表会（サマーコンサート）

児童生徒の表現力の向上と音楽教育の振興を図るために開催しています。船橋市民文化ホールで、合唱や楽器の発表を行います。

中学生弁論大会

各中学校の代表者が、身近な出来事や自身の未来に対しての展望など様々なテーマで思いを熱弁します。表現力の向上をめざす内容で行われています。

「平和への願い」標語

船橋市では平和がいつまでも続くようにとの願いを込めて、昭和61年12月19日に「平和都市宣言」を行いました。「平和の尊さ」などを市民の皆様と考える様々な事業を行っています。その事業の一つとして、市内小・中・特別支援学校の児童・生徒から平和に関する標語を毎年募集しています。

中学校英語発表会

日常における英語学習の成果をスピーチなどで発表します。聞く力・話す力の向上を図るとともに船橋の英語教育及び国際理解教育の振興に役立てています。

夢・アート展

児童生徒が、図工・美術の授業の中で取り組んだ作品をアンデルセン公園子ども美術館に展示しています。夢や願いを作品に表すことをとおして、豊かな情操を養うことを目的としています。

ふなばしハッピーサタデー事業

船橋市では、行政と地域団体や地域の方たちが連携を図り、公民館等において子供たちがスポーツや文化活動に親しむことにより、豊かで健全な心身を培うことを目的として「ふなばしハッピーサタデー事業」を開催しています。

青少年キャンプ

市内在住の小学校４年生から中学生を対象にして、夏休みに青少年キャンプを開催しています。大自然と触れ合いながら友好を深める貴重な場を提供しています。

ふなっこ未来大学

東邦大学の教授などが講師となり、観察や実験を行い、将来の夢や目標につながるような体験を提供しています。

津別町青少年交流

市内在住の小学校５年生から中学生を対象にして、夏休みに北海道津別町と船橋市の青少年が隔年で訪問し合います。様々な体験活動をとおして、相互理解や地域間交流を推進しています。

ふなばし自主夜間中学校「ふなラ～ン」

一般社団法人ふなばしリカレント教育協会と社会教育課が協力して、令和５年２月２日にふなばし自主夜間中学校「ふなラ～ン」を開校しました。誰にでも「自由な学びの場」を提供し、人間として「生きぬく力」を養うことを支援し、生涯学習の推進を図っています。

国語、算数、英語を中心とする中学校までの範囲の学習を行います。ただし、授業内容は、生徒のニーズに合わせて、柔軟に対応しています。

年齢も国籍も様々な人たちが集まります。目的意識を持ち、学ぶ場所を求めて通ってきています。